
第 103 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

CIII Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

日時:2016 年 11 月 5 日(土) 10:30 - 12:30

場所:関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア) 1002 教室

担当者:吉野達也 (報告作成補助:柳田玲奈)

「講読: La nueva gramática básica de la lengua española 第 2 部『語』 2b 語類・語種 第 14 章『副詞』 pp.136-143」

* Fecha y hora: sábado, 5 de noviembre de 2016, de 10:30 a 12:30

* Lugar: Universidad Kwansai Gakuin, Campus de Umeda "K.G. Hub Square", Aula 1002

* Encargado: Tatsuya Yoshino

* Lectura de la “Nueva gramática básica de la lengua española: Apartado 14 “El adverbio””

p. 136 副詞

特徴付け(Characterización, p.136)

副詞は異なる「語の種類」(clase de palabras)を構成する。伝統的な特徴付けとしては不変の特徴や動詞を修飾するという機能によって区別される語彙集合体であったが、共通点を見出すのが困難な幅広い個体の集合体を形成すると考えられるようになった。

副詞の範疇は「焦点化副詞」(adverbios de foco) (*incluso, aun, hasta, ni siquiera*)や、「談話連結辞」(conectores discursivos)を除外すると、均質である。これらは副詞的でない表現と共通点が多いので、他の章(p.10, 71~72)を参照のこと。

- a) 形態論的観点からみると、屈折(活用)が欠けている。前置詞、接続詞、間投詞に類似する。
- b) 音声学的観点からでは、副詞は強勢の単語であり、前置詞、接続詞とは異なるものである。
- c) 統語論的観点からみると、副詞は副詞グループを形成することができる。

①動詞(*camina despacio*)、②形容詞(*excesivamente estrecho*)、③ほかの副詞(*muy cerca*)、④名詞句(*más amigos*)、⑤形容詞句(*muy contento del resultado*)、⑥副詞句(*bastante lejos de su casa*)、⑦前置詞句(*casi sin esfuerzo*)のグループ

のように、副詞やそのグループは異なる統語範疇を修飾することができる。

また⑧属詞の役割(*Estás estupendamente; Te veo mejor*)も果たす。副詞は特に⑨話の主たるテーマといった使われ方(*Humanamente, deja mucho que desear*)、⑩発話された副詞(*Probablemente, son ya las cuatro*)、発話における戦略的、平叙文といった⑪前置詞(*Sinceramente, no sé nada*)として周辺に現れる。副詞のグループは、名詞・形容詞・動詞グループと同様に⑫独立した発話扱いできる副詞(*¡Arriba!; ¡Muy bien!; ¿Cuándo vendrán? - Hoy.*)ともなりうる。

d) 意味の観点としては、いくつかの場合でその数に制限があることとは関係なく、副詞は表意的用法も指示的用法も可能な語彙論の単位である。(*aquí, entonces, nunca, ya, mal, sí, quizás*)

副詞を区分するには異なった基準が存在する。主な基準は、その意味、形態的構造、文法的性質、そして統語的影響である。区分化の基準は排他的なものではなく、様々な区分が交差することが度々起こり得る。あるひとつの副詞が評価されている属性しだいでいくつかの準区分に属することもある。*nunca* や *jamás* は *cuando* のように時の副詞(*los adverbios de tiempo*)であり、*tampoco* のように否定の副詞である。しかし、*alguno* や *ninguno* と同様に不定でもある。

意味による副詞の種類(Clases de adverbios según su significado, p.137)

意味論による副詞の分類 (肯定、否定、疑問の副詞については第 24 章)

量	más, menos tanto(tan), nada, algo, mucho(muy), poco, todo, demasiado, cuan(to), cuán(to)
場所	aquí(acá), ahí, allí(allá); lejos, cerca; (a)dentro, (a)fuera; (a)donde, (a)dónde; arriba, abajo; encima, debajo; (a)delante, detrás
時	antes, ahora, después, luego, primero, entonces, ayer, hoy, mañana, siempre, nunca, jamás, temprano, pronto, presto, enseguida, mientras, cuando, cuándo

相	ya, todavía, aún
様式・方法	así, bien, mal; mejor, peor, tal; -mente 副詞; 形容詞的副詞
肯定・否定	sí, también, claro, efectivamente, cierto; no, tampoco
疑問・可能性	quizá(s), acaso, igual, probablemente, posiblemente

量の副詞(adverbios de cantidad, p.138)

量、度合いや強化を表す。典型的には形容詞(más elegante)や、他の副詞(menos lejos, suficientemente ancho)を修飾する唯一の副詞である。いくつかの下位分類は以下のように区別できる。

a)不定副詞(adverbios indefinidos)は、限定詞(determinantes)、形容詞(adjetivos)や不定代名詞(pronombres indefinidos)(*algo, bastante, demasiado, nada, poco, más, menos, suficiente, cuanto, mucho*)によって構成される。これらの単語は名詞や名詞句を修飾する場合は限定詞や形容詞(*bastantes problemas; Son bastantes*)、また形容詞(*bastante listo*)、副詞(*muy despacio*)や動詞(*sonreír mucho*)といった他の範疇を修飾する場合には副詞と判断されている。他動詞とともに代名詞としてふるまうことができ(*No había leído mucho*)、自動詞を伴えば副詞的になる(*Viaja mucho; Sufre bastante*)。いくつかの動詞とともに2つの価値を生み出すことができる。*Corrió mucho*の mucho は、代名詞の役割(muchos kilómetros 長距離)か、副詞の役割(con gran velocidad とても速く)を果たす。

b)度合いや強化を表す副詞(*sobremano, bien, regular*)。 *Es bien rico; No come mucho, solo regular*のように修飾語の様な機能を果たす時、bien と regular の根源の意味は様態(modos)である。

c) -mente で終わるたくさんの副詞 (*escasamente, extremadamente, notablemente, considerablemente*)

d)過度や評価を表す意味を持つ副詞的成句(locuciones adverbiales) (*a más no poder, al máximo, a mares, a todo pulmón* など)

場所の副詞(adverbios de lugar, p.138)

指示副詞(adverbios demostrativos) (*aquí, ahí, allí, acá, allá* など)と、場所に関連した副詞(adverbios de relación locativa) (*delante/detrás, adelante/atrás* など)の2つのグループにまとめ上げることができる。前者

(指示副詞)は直示的性格(例)este, aquel, aquella)を表し、言及しているものの位置を話中の人物との関係で示す。それは、代名詞(*yo, tú, él*)と共有する特徴である。

後者(場所に関連した副詞)はさらに意味によって2つのグループに分けられる。1つ目のグループは、p.139の表中 A のように位置 (*Estoy detrás de la pared*) を表すが、また行先や終着も表現する (*Lo lanzó detrás de la pared*)。2つ目のグループ(表中 B)は、方向や行先を表す。

A.位置(ubicación)	B.方向(dirección)
delante / detrás	adelante / atrás
encima / debajo	arriba / abajo
dentro / fuera	adentro / afuera

・方向や方位の副詞はアメリカ大陸のスペイン語の多くにおいて場所の価値づけの意味を持って使われる。

そのため、*adelante de la casa, arriba de la escalera, adentro de la estación* と言うように補語を伴う。ヨーロッパにおける公式な使用領域ではこの使い方が避けられ、補語と共にグループ A の副詞が使われることが好まれる (*delante de la casa, encima de la escalera, dentro de la estación*)。

・ *adelante* の間違っただけの変形である *alante* の使用は避けることが好ましい。

位置を表す副詞は補語と共に構成されるという事実によって特徴づけがなされる (*El perro estuvo toda la noche[fuera/dentro/encima/debajo など] de la casa*)。それゆえに2つの項の間に一つの位置関係が見いだされる。今取り上げた文の *el perro* と *la casa* の間にそれが存在する。副詞の補語は *Lo dejé delante (de la casa)* といった文のように文脈によって修復可能であれば暗に示すことができる。

時の副詞(adverbios de tiempo, p.139)

意味による区別

	相応する疑問詞	
基準時参照副詞	¿cuándo?	ayer, hoy, mañana, actualmente, antiguamente, recientemente
継続性	¿cuánto (tiempo)?	brevemente, largamente, siempre
頻度	¿cada cuánto (tiempo)?	cotidianamente, habitualmente, nunca, semanalmente, siempre

基準時参照副詞は行動、プロセス、状態を時間軸上に位置づける。それらが文中の文法的時制で示されようと (*Llegaremos antes*)、補語の部分によって示されようと (*antes de las diez, después de la misa*)。

これらの関係は時間的に先でも (*antes, anteriormente, previamente*)、後でも (*después, luego, posteriormente*) あるいは同時でも (*simultáneamente, a la vez*) 可能である。

antes と *después* が形容詞として、あるいは時の名詞 (*día, noche, semana, mes*) を修飾するのに使われるときは、前置詞 *de* を手前に置く必要はない。 *el día de antes* よりも *el día antes* が好まれる。

継続性を表す副詞は修飾する述部によって示される状態が続く時間としてその始まりから終わりまでを表現する。

頻度の副詞は、それが作用する動詞の進行のリズムを示す。不明確な頻度の副詞 (*a menudo, de vez en cuando, esporádicamente, frecuentemente* など) と、明確な頻度の副詞 (*a diario, bienalmente, diariamente, semestralmente* など) に分けられる。この種類の副詞は、主題の副詞に似た解釈をもって文頭のポジションに来る (p.142)。

アスペクト副詞 (*adverbios aspectuales*, p.140)

de nuevo や *otra vez* のように出来事の繰り返しに言及する副詞は、*ya* や *todavía* の様な前時であろうと後時であろうと段階 (*fase*) のどこかに言及する副詞と同様に、正確には時を表現するのではなく、アスペクト (相) を表現する。 *Todavía vive allí.* の *todavía* は以前の状態 (*Vivía allí*) が現在も持続していることを指す。また *Ya conozco a Javier.* は、述語によって表される状況 *conocer a Javier* は、現在起こっているが前時には起こってなかったことを推察させる。

様式や方法の副詞 (*adverbios de modo o manera*, p.140)

指示詞 *así* (*No me gusta que se comporte así*)、副詞 *bien, mal, regular, mejor, peor, despacio, deprisa, aprisa,*

無数の-mente 副詞 (*Se marchó tranquilamente*)、たくさんの形容詞的副詞 (*No hables tan alto* の *alto*) やたくさんの副詞的成句 (*a gatas, a escondidas, a pies juntillas, a dos carrillos, punto por punto*) は、この種類に該当する。

形態論的構造による副詞の種類(*clases de adverbios según su estructura morfológica, p.140*)

この見解によれば、*bien, mal, lejos, aquí, siempre, luego* のような単純なものもあれば、あるいは派生やほかの形態素により形成されるものもある。後者の中では、A-mente という基準で作られた副詞 (*ciertamente, irremediablemente, tranquilamente*) が顕著である。形容詞的副詞 (*adverbios adjetivales*) と呼ばれるものは、いくつかの形容詞の男性形の形状を持ち、いくつかの品質形容詞を再範疇化することで作られる (*caer bajo, comer sano, jugar limpio*)。

-mente を伴う副詞(*adverbios en -mente, p.141*)

副詞の中でも最も多く、異質な種類を形成する。多くの品質形容詞の女性単数形に-mente をつける形 (*fijamente*) となり、わずかだが関係性を表す形容詞を基にしても作られる (*matrimonialmente*)。その体系は表現やコミュニケーションの必要性に応じて容易に適応するので、開かれた種類を構成している。これらの副詞は形容詞の部分と複合構成要素の部分の2か所に強勢が存在している (*libremente*)。もし基になる形容詞にアクセント符号が付いている場合、それを持続してつける (*difícilmente, cortésmente*)。このタイプの副詞が複数等位になる場合に関していえば、最後の一つを残して前に置かれるものの-mente は省略するのが一般的である (*lisa y llanamente; rotunda, radical y definitivamente*)。

形容詞的副詞(*adverbios adjetivales, p.141*)

形容詞的副詞は形容詞や過去分詞の男性単数形の形状を持っている。他の副詞と同様に屈折(*flexión*)がない。だから以下の下線部は形容詞的副詞である。 *Las golondrinas vuelan bajo; Las espinacas saben raro*。他方、 *Las golondrinas vuelan bajas; Las espinacas saben raras* の下線部は、叙述補語の役割を果たす形容詞である。後者の二つは形容詞なので、叙述する名詞 (主語) と一致する。

このグループの副詞はアメリカ大陸のスペイン語でより多く、いくつかの形容詞とのみ形成される。その中

では *bárbaro* (*Jugó bárbaro*), *bonito* (*Que te vaya bonito*), *rico* (*Cantan rico*), *genial* (*Se portó genial*), *sabroso* (*Conversaron sabroso*) の様に行為の様態の良い評価を表すものが広いグループを作る。また、いろいろある概念の中でも、空間的次元に言及したり (*alto*, *bajo*, *hondo*, *profundo*)、*recio*, *quedo* のようにいろいろな感じ方について言及することもできる。形容詞や他の副詞を修飾せずに動詞のみを修飾し、修飾する動詞と一緒に現れるというように、組み合わせに関しては幾分かの制限がある。*Hablar claro sobre una cuestión* と *Hablar sobre una cuestión claro* では、前者が好ましい使い方である。また *se apunta alto / bajo*; *se juega limpio / sucio*; *se hila fino / delgado / basto* の様にいくつかの動詞とのみ使われる傾向があるので、語彙的制限も存在する。

文法的性質による副詞の種類 (clases de adverbios según su naturaleza gramatical, p.142)

この見解によれば、副詞は語彙的なものと文法的なものに2つに分けられる。語彙的なものとしては新しい個体の作成あるいは加入を許す開かれたグループで、とくに *-mente* で終わる副詞が多い。もっとも、それだけではなく *bien*, *deprisa*, *temprano* も含まれるが。一方、文法的な副詞においては体系がより制限されており、以下の様に分類できる。

- a) 指示詞 (*aquí*, *ahora*, *así*)。指示詞に関しては限定詞と指示代名詞と共に 11 章にて扱われている。
- b) 同定的 (identificativo) あるいは指示的副詞 (*antes / después*, *encima / debajo*)。(本書の) 時や場所の副詞のところで研究されている。表現している意味は、だいたいそれらだから。
- c) 不定量化詞 (cuantificativos indefinidos) (*algo*, *demasiado*, *suficiente*)。量の副詞の種類に含まれる。
- d) 関係詞 (*cuando*, *cuanto*, *como*, *donde*)
- e) 疑問詞 (*cuándo*, *cuánto*, *cómo*, *dónde*)、感嘆詞 (*cuándo*, *cuánto* *cómo*, *dónde*, *qué*)。意味的には異なるが、形は同じ。

統語的影響による副詞の種類 (clases de adverbios según su incidencia sintáctica, p.142)

この基準は、副詞を、中心的働きであろうと周辺的位置にであろうと統語的關係に応じて分類する。副詞は、動詞表現にも形容詞句にも副詞句にも影響を及ぼすことができるから。この観点から副詞や副詞句は以下の

様に分類される。

- a) 項的(argumentales) 述部によって選ばれる (*Pon el libro ahí; Mide muy poco*)。
- b) 属詞(atributos) 属詞の機能を担う (*La encontré divinamente*) 。
- c) 形容詞の修飾(modificadores de adjetivos) (*muy tontos, menos atrevidos, nada fácil*) や副詞の修飾 (*harto lejos, demasiado dentro*)。
- d) 付加語、あるいは状況補語(adjuntos o circunstanciales): *Viven muy lejos*。
- e) 観点を表す副詞を含めた主題の副詞(adverbios de tópico)。 (*Aquí, sí lo saben; Artísticamente, es digno*)。
- f) 発話の副詞(adverbios del enunciado): *Verdaderamente, fue un caos*。
- g) 発話行為 (あるいは文) の副詞 (adverbios de la enunciación o del verbo enunciativo)。 *Sencillamente, estamos de acuerdo; Sinceramente, ¿quién lo ha roto?*

副詞成句(las locuciones adverbiales, p. 143)

いくつかの語によって構成され一つの副詞に相当する固定された表現である。いくつかは *-mente* 副詞によって言い換えを可能とするが、大部分はより具体的な意味を表現する。以下の表では副詞成句となる可能性を与える主な統語的規範である。

副詞成句(locuciones adverbiales)

統語的規範	成句の例
前置詞 + 単数名詞	<i>a bocajarro, a gusto, de día, de reajo, en secreto, sin duda</i>
前置詞 + 複数名詞	<i>a trozos, a pedazos, a cachos a gatas, a saltos, a tientas</i>
前置詞 + ラテン語の名詞	<i>ex aequo, in memoriam, in situ</i>
前置詞 + 名詞句	<i>a la fuerza, al azar, a primera vista a grito pelado, a salto de mata de una vez, de un trago</i>
前置詞 + 形容詞、過去分詞	<i>a diario, en serio a ciegas, a oscuras</i>
前置詞 + 冠詞 + 形容詞	<i>a la larga a lo grande</i>
前置詞の相関	<i>de un momento a otro, de ahora en adelante, de vez en cuando</i>

名詞句	<i>una barbaridad, una eternidad, horrores, montones, acto seguido</i>
等位の形	<i>más tarde o más temprano, ni más ni menos</i>